

埼玉親善大使 レポート

T. I.
イギリス



私は、2021年秋からイギリスのパブリックスクールへ二年間留学してきました。イギリスでの様子と、私が留学を通して体験した埼玉親善大使の活動についてご報告したいと思います。

私が留学を始めたのは、新型コロナウイルスによる感染が世界中で猛威を振るっていた頃でした。そして、東京（夏）と北京（冬）オリンピックが開催され、その後、あの痛ましい長期戦争となったロシアのウクライナ侵攻が起きました。世界に影響を及ぼす出来事が続き、自分も世界市民であることを強く実感しました。物理的にも精神的にも世界が近くなった現在において、世界の平和と幸せを地球上のすべての人々が等しく望むことを心より願っています。

また、イギリスでは国中が賑わったエリザベス二世女王の Platinum Jubilee（在位70周年記念）祝典、エリザベス二世女王のご逝去により世界中が別れを惜しんだ国葬、そしてチャールズ三世新国王の即位ではイギリスの長い伝統を感じる厳かな戴冠式が執り行われ、歴史を肌で感じる二年間になりました。日本の天皇制度のような国の象徴という感じではなく、世界のイギリス領においてイギリス王室には政治的な発言力があつたり、観光地での英王室グッズの記念品販売があつたり、またそれが大変な人気であるなど、国民が王室をとっても身近に感じ、華やかな憧れられる存在であることに驚きました。



(Buckingham 宮殿の騎馬隊)

私の留学先の学校は、首都ロンドンから南へ電車で1時間ほどのサウス・クロイドン地区にある私立学校でした。日本の小学5年生から高校3年生までの全校生徒1,100名ほどの一貫教育校で、私は Sixth Form と呼ばれる高校に当たる学年の Lower と Upper の二年間インターナショナル・バカロレア (IB) ディプロマ・プログラム・コースを履修しました。世界各国から集まった留学生たちや自宅から通えない越境入学の生徒たち100名ほどと一緒に寮生活を送りました。パブリックスクールでの授業スタイルは、日本の高校とは違い、クラスごとではなく、選択教科ごとにクラスメートも教室も変わり、少人数での活発なアクティブラーニング教育を受けることができました。様々なバックグラウンドを持った優秀な生徒たちの貪欲な知識欲、授業中の活発な発言やディスカッションはとても刺激になりました。全人教育を目指す IB コースでは、Higher Level 3 科目と Standard Level 3 科目の合計6教科の学習科目を選択しますが、それ以外にも IB core としての ToK エッセイ (Theory of Knowledge) や卒業論文 (Extended Essay)、CAS (Creativity, Activity & Service) などの芸術、スポーツ課外活動やボランティア活動などにも従事する必要があり、とても忙しい二年間でした。



(Public School 校舎、Founder's Garden)

留学先では、日本人生徒は数人しかいませんでしたが、外国語として日本語を選択している生徒もおり、交換留学制度も充実していたので、日本へ興味を持ってきている生徒も先生も多く、日本人の私にも積極的に話しかけてくれて、またとても良い印象を持っていてくれることを知ることができ嬉しかったです。これは、これまでの日本人留学生の方々の素晴らしい活動によるものであり、私も先輩方の姿を見習い、気持ちを引き締めました。私は学校のオープンデーの日本ブースでボランティアとして活動し、日本語担当の先生たちのサポートとして日本独自文化の昔ながらの遊びや文字などの紹介をしました。



(Open School 日本ブース)

埼玉親善大使としては、埼玉県「長瀬」や「小江戸川越」を友人やホストファミリーなどへアピールさせていただきました。イギリスではボート競技が有名ですが、私は、高校時代にカヌー部に所属していましたので、特に長瀬での川下り（ラフティングやカヌー）の楽しさや周囲に広がる四季折々の景観の美しさなどをアピールしました。また、日本のサムライや忍者は人気があり、江戸時代からの建造物が多く残っている川越の雰囲気はとても魅力があるようでした。イギリスでは、紅茶文化が進んでいますが、イギリス人は日本茶とともに和菓子にも親しんでいて驚きました。日本茶として知名度が高いのは、やはり抹茶でした。クッキーやチョコレートなどお菓子の抹茶味は大変好評です。私は日本茶の代表として埼玉県の「狭山茶」を紹介し、お菓子は「狭山茶らんぐ」や梅林堂「やわらか」狭山茶味などを振舞いました。日本文化に慣れている生徒たちでしたので、どれも美味しいと好評でした。



(イギリスの Hi-Chew、埼玉土産の菓子)

私は、これからまた新たに出会う海外の人々へ日本を紹介して、日本に興味をもってもらい、いつか訪れてみるなら日本が良いと感じてもらえたら嬉しいと思っています。そして、折角日本へ行くのなら、是非都心からのアクセスがとても良い埼玉県へ足を伸ばしていただき、短期的な娯楽や観光としてだけでなく、長期的な生活の場としてもとても魅力的な地域であることを伝えたいと思います。今夏、私はイギリスのパブリックスクールを卒業しました。海外での経験を活かし、これからも埼玉県の魅力を発見していきたいと思っています。



(Public School 卒業式)

日本人である私がイギリスで暮らすことで、周囲の人々から日本や埼玉県に興味を持っていただくきっかけになれると知り、とても貴重な体験となりました。そして、埼玉親善大使という立場から、改めて日本や埼玉県を見つめなおす機会をいただき、ありがとうございました。また、このレポートを通して、埼玉県の皆さまにもイギリスを身近に感じていただければ、大変嬉しく思います。